



## 大井コンテナ埠頭第6バースに世界初のコンテナ立体格納庫が完成！

増加するコンテナ需要に対応するため、荷役効率の向上、ヤード用地の有効利用かつ環境への配慮を目指して、大井コンテナ埠頭第6バース内に整備していたスタックークレーン方式としては世界初の立体格納庫がこのたび完成し、本年4月より操業を開始しました。

以下に本施設の概要及び主な特徴を紹介します。

### 【施設概要】

全長：90m 幅：50m 高さ：31m（7段の格納棚）

最大格納量：840TEU 棚数：420

全棚に冷蔵・冷凍コンテナ用コンセント付

最大処理能力：48コンテナ／時間

施工期間：平成20年10月7日～平成23年3月30日

### 【主な期待効果】

○荷役効率の向上（33%向上）

- ・RTGによる荷役作業と異なり目的のコンテナをダイレクトに取出し可能
- ・従来の荷役作業と比較し、時間あたりの処理能力が向上

○ヤードの有効利用（66%向上）

- ・容積効率を高め、狭隘なヤードを有効に利用

○環境への配慮（CO<sub>2</sub> 63%削減）

- ・荷役機械の電動化に伴うCO<sub>2</sub>削減
- ・荷役機械で発生する回生電力を有効活用
- ・定格出力200kWの太陽光発電設備を導入

効率的・効果的なサービスの向上、環境に配慮したターミナル運営の構築に向け、当社は今後とも利用者ニーズを積極的に捉え、東京港の発展を目指していきます。



（立体格納庫 外観）

東京港埠頭株式会社  
技術部 設備課  
03-3599-7456